



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ
2014年度~2015年度
4月報 Vor. 80
強調月間テーマ

LT
(Leadership Training)

4月例会プログラム

と き：2015年4月11日(金) PM 13:00~15:00
と ころ：雨天の為 YMCA 会館

開会挨拶と点鐘 司会 片山 啓
ワイズソング 会長 柴川 林也

- ワイズ信条
- 1 自分を愛するように 隣人(りんじん)を愛そう
 - 1 青少年のために YMCAに尽くそう
 - 1 世界的視野をもって国際親善をはかろう
 - 1 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさそう
 - 1 会合には出席第一社会には奉仕第一を旨としよう。

今月の聖句と食前の感謝・食事 井出 幸枝

ワイズソング リーダーとワイズ
ゲーム

ハッピーバースデー&おめでとう結婚記念日
スマイル ドライバー 土谷 明男

茨城YMCA報告 和田 賢一

閉会挨拶と点鐘 会長 柴川 林也

例会後
報告・協議

- ① ロースターの確認
- ② 6/6-7の東日本区大会への参加者確認
- ③ 5月例会の司会者,食前感謝,ドライバー,ゲスト,巻頭言

2014年度 3月会計報告 会計：井上恒久
3月の会計報告は、来月、ご報告をさせていただきます

○中村さんの入会式
3月の例会で入会された中村さんの入会式の様子。
中村さん、これからも、よろしくお願ひ致します。



国際会長主題 : 言葉より、行動を
アジア地域会長主題: 未来を始めよう、今すぐに
東日本区理事主題 : 誇りと喜びを持って
関東東部部長主題 : つなげよう ワイズの ところ
茨城ワイズ会長主題: 「若者とともに喜びましょう！」

今月の聖句
「キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。」
(エフェソ2章22節)

10周年を迎える茨城ワイズ

宮田 康男

茨城 YMCA は昨年度、創立 20 周年を祝いました。20 年の間にさまざまな恵みを与えられ、101 人のチャーターメンバーから始まった活動は大きく成長しました。そのうちの 하나가、ワイズメンズクラブの活動と言えます。

茨城ワイズメンズクラブは、2016年3月5日に10周年を迎えることとなります。活動の中心は、茨城 YMCA に関わるコース・ボランティアのサポートや育成にあります。

今までの10年間に、茨城 YMCA のボランティア・リーダーは、さまざまな体験を積むことができました。インドネシアやスリランカなど、海外のつなみ支援のワークキャンプへの参加、タイのエイズ孤児施設への派遣、また、シンガポールやインドで行なわれた、世界の YMCA のコースが集うコースコンベンションにも参加することができました。

国内でも、東日本 YMCA コースリーダーズフォーラムや全国 YMCA リーダー研修会、日本 YMCA 大会などに大勢が参加し、現代社会をいかにして生きて行くか、を学ぶ時を与えられました。卒業したリーダーも今、社会の中で、オピニオンリーダーとして活躍しつつあることはとても嬉しいことです。

茨城ワイズメンズクラブは、青年達の支援のための、それらの資金を得るために、まつりつくばへの出店、バザーの開催、北海道ワイズのじゃがいもの販売等も実施してきました。

未来の指導者の養成は、このようにして脈々と受け継がれてきたことの一つで、茨城ワイズの支援の中からも、その学びに心えて、YMCA やワイズの思いを、社会で発信していくリーダーが出てくることを確信しています。「明日の指導者は今日創られる」のであり、今、学生達への応援は必ず、未来の社会に大きな影響を与えていくはずで。

間もなく、ワイズの新年度を迎えますが、ぜひこの活動をさらに一層充実させ、より多くの前途有為な青年を社会に送り出す業を進めて行きましょう。また、茨城ワイズの10周年を大勢の仲間と共に喜びのうちに迎えたいと願っています。

出席者	会員	9名	メネット	0名
3月例	スタッフ	3名	(リーダー)	1名
	ゲスト	1名	出席総数	13名
	在籍者会員数	14名	会員出席率	65%

【茨城ワイズ 3月例会報告】

〇ゲスト

題目「全国リーダー研修会報告」

茨城 YMCA ボランティア・リーダー 溝口 紗貴

- 発表の機会を感謝したい。この発表で私の学びが完成する。
- 全国から約100名のリーダーが集まって、社会問題も扱った。

1. 基調講演から

- 「宝物 福島から」 講師：小川哲史（写真家）
- 福島を撮り始めた理由
なかった事になることが悔しくて福島を伝えたかった
- しわよせは全部日常に
子供たちを外に遊ばせられない。散歩もできない。幼稚園での散歩も2年後、凧りながら歩いた。2歳児や3歳児が散歩を喜んでいただとのこと。あたりまえではない。
- 散歩の話から



体験を奪うこと＝感動を奪いことでは、(散歩)と感じた。キャンプで子供達と付き合う上で、大事にしたいと思った。新しいことを奪ってはいけないと感じた。この話を聞き、知らないことに触れたことで謙虚に話を姿勢になれた。

2. 2日目の協議

- テーマ「気づき、考え、行動する」 発表の様子
地域について議論・発表
地域のつながりの希薄化はなぜか。
子育てで助けて頂けない→子供の虐待に続く
ネット社会で地域の助けが不要で人が集まる機会が少ない
ではどうするか
- 「人と技術の共生」、「発信力」
人がつながる場所を、技術をつかって発信し共生につなげる。
技術を活用できないか。
全国YMCA地域プログラム研修会を行なうのはどうか。
- 個人的には、1年あるので、地域のつながりを着目したチャリティバザーをしたい。福島のYMCAとも付き合いたい。

3. まとめ(私が感じ気づいたこと)

- 自分の中で気になっていたが目をそむけていた事に気がついた。しかし、自分には向き合う力があることがわかった。
- 考えることは大変だが、ひらめきや、共有があると、楽しくなる。プランが生まれ行動につながる。一人ではなく多くの人が集まるから出来るものがある。
- 皆で集まることで、何ができるのか考えていきたい。

〇協議の概要

- 茨城YMCAが町内会に入会した。今後、CS(コミュニティーサービス)を考えて行きたい。
- 次年度の役員選出
会長：片山 啓
副会長：土谷 明男
会計：井上 恒久(正)、井出 幸枝(副、兼務)
書記：柳瀬久美子(正)、土谷 明男(副、兼務)
料理長：井出 幸枝

「東日本ニュース」より

〇LT 強調月間に寄せて

LT 委員長 伊藤幾夫

ご承知のように、LTとはリーダーシップ・トレーニング(Leadership Training)の略です。「ワイズマンであること」自体がリーダーシップ・トレーニングといわれています。それは、入会式の際に誓約した5つの事柄にも表わされていますし、ことはを代えて、4つの「I」(Idealism:理想を持つこと、Interest:興味を持つこと、Initiative:率先して、Industry:労をいとわぬこと)としても表現されています。「理想、興味を持ち、自ら提案者となり、労をいとわず、前向きに行動すること」と表現してもよいでしょう。4月がLTの強調月であることは、特にこの時期は、3月の次期クラブ会長・部役員研修会を受けて、各クラブ・部において、次期に向けての準備が行われ、ワイズメンのリーダーシップがことさら期待される時でもあるからです。

〇第18回東日本区大会のご案内

東日本区大会まであと2か月余りとなり、大会の諸準備は佳境に入っています。大会登録費や2日目のプログラム開始時刻等、参加していただき易い工夫がなされています。沢山の方に参加いただき、旧交を温め、また、新しい出会いを楽しみながら情報・交換、相互啓発を活発に行っていただくことを願っています。因みに、3月30日現在の登録者数は199名です。

<大会の概要>

- 開催日：2015年6月6日(土)、7日(日)
- 会場：厚木市文化会館レンブラントホテル(神奈川県厚木市)
- 大会テーマ：「ここから未来へ」
- 登録費：メンバー、メネット：16,000円 ユース：8,000円
- 登録方法：登録申込書をFAXまたは郵送

【茨城YMCA活動予定とお知らせ】 担当主事 和田賢一

◆3月の報告

- 2日 早天祈禱会 宮田 大賀
- 3日 理事会
- 4日～5日 春スキーリーダートレーニング 池長・久米
- 5日～6日 全国総主事会議 宮田
- 7日 チャリティーバザー
- 8日 高学年定例野外活動 トムソーヤ 池長
- 9日 2歳児ピッコロクラス終了
- 14日 春スキーキャンプ思い出会 池長・久米
障がい者自立支援たんぽぽクラブ 池長・久米
- 16日 職員礼拝・職員会
- 19日 幼保園進級式・3歳児つぼみクラス卒園式大賀・斎藤
- 20日 幼保園終了
児童クラブお別れ会
- 21日 小学生定例野外活動 わいっこクラブ 田島
牛久センターオリエンテーション宮田・大澤・久米
東新井センターワーク
- 23日 幼保園1日入園 大賀・斎藤
- 25日～4月6日 スプリングスクール
- 26日～29日 春スキーキャンプ 池長・久米
- 28日 牛久センター開所式・ワーク

◆4月の予定

- ～6日 児童クラブ スプリングスクール
- 7日 児童クラブ 通常保育開始
- 9日 幼保園3歳児つぼみクラス 入園式
- 11日 春スキーキャンプ思い出会 池長・久米
- 13日 早天祈禱会 大賀・宮田
- 18日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ 久米
- 19日 かすみがうらマラソン大会運営サポート 和田・大澤・大賀・坪和
- 25日 東日本区理事総主事研修会 宮田・和田
リーダーズディキャンプ
- 26日 筑波バプテスト教会総会ナースリー 池長
- 27日 理事会 宮田・和田
- 29日 小学生定例野外活動 わいっこクラブ 田島

〇YMCAよりお願い

東ティモール活動報告会～のぞいてみよう世界のいのち～
NGO シェア(国際保険協力市民の会)は、すべての人が心身ともに健康に暮らせる社会を目指し、「いのちを守る人を育てる」保健医療支援活動を、タイ、カンボジア、東ティモール、日本で進めている団体です。以前茨城YMCAでボランティア・リーダーをしていました山本さん(ペルーリーダー)が今回YMCAとタイアップして活動についてお話をさせていただきます。日程：2015年4月25日(土)時間：10:00～12:00場所：茨城YMCA 東新井センター参加費：大人500円/高校生以下無料*東ティモールの珈琲1杯・お菓子つき!どうぞ興味関心がございましたらお越し下さい。(お声がけもよろしくお願ひいたします。)

【編集後記】

書記：片山啓

3月より数十年ぶりに電車による通勤が始まった。部署の移動によるもので、決まった時には抵抗も大きかったが、最近、通勤が実は有意義な時間である事が分かってきた。何故か。

例えば、運動である。車での通勤は歩かない。それが、TXの駅には、地上までの長い階段があり、会社に着けばビル階段がある。これを毎日歩くだけで少し痩せられた気がするし、少し姿勢が良くなったように自分では感じている。

次に、車中での時間が実に良い。朝は、座れるので勉強ができる。家で眠くなるが、車中では目があることで私の場合、逆に頑張れるから不思議だ。帰りの電車も、各停に乗れば、早い段階で座れることが最近分かった。座れたら車中でPCを開きプリテンの作成や教会奉仕の準備もできる。得した気になる。

人生とは本当に不思議なものだと思う。自分の期待していない仕事や役割、さらに環境が与えられても、そこで何かを見つめることがある。与えられた場所で何を見つめるのか、これで人の人生の価値も、大きく変わるのではないだろうか。